



横浜DeNAベイスターズ監督
アレックス・ラミレス氏

アスリートにとっては試合前に食べるのがベストですね。ビタミンやたんぱく質を多く含んでいて、しかも食べたあとに胃もたれしないので、試合前に食べることで、よい状態でプレーにはいれるんです。BASE PASTA™を食べてからジムでトレーニングするのもよいですね。わたし自身、毎日、ときには1日3食食べていますが、毎日食べていると、からだが必要としている栄養をとることがいかに大切かを感じます。チームの選手たちみんなにBASE PASTA™をすすめています。

現横浜DeNAベイスターズ監督。DeNA選手時代の2013年にNPB通算2000本安打を達成。NPBの外国人枠適用後では史上初の名球会入会選手。選手時代は「ラミちゃん」の愛称で親しまれた。

プロマラソンランナー／株式会社OFFICE YAGI代表 八木 勇樹氏

アスリートにとって食事はとても重要です。栄養バランスのよい食事をとらなければトレーニング効果は減少します。また、マラソンなどの持久系競技はエネルギー切れをおこす可能性があり、エネルギー源であるBASE PASTA™はエネルギーと同時にバランスのよい栄養もとれるので、安心してレースやトレーニングにのぞめ、日々のコンディションづくりにもおおきなたすけになっています。

2020年東京五輪でのメダル獲得をめざすプロランナー。早稲田大学時代は主将として駅伝3冠、関東インカレ・日本インカレ総合優勝の5冠という史上初の快挙を達成。卒業後の2016年、陸上界に科学的なアプローチで変革をおこすべく、YAGI RUNNING TEAMを発足し、自身の競技力向上とともに市民ランナーのサポートもおこなう。



ベストボディジャパン東京2013年優勝者／SHAREZ代表
岡崎 秀哉氏

朝時間のないときでも、夜遅く帰っても、かんたんに調理でき、満腹感もあり、なによりしっかり栄養摂取できるBASE PASTA™を日常食として重宝しています。1食でたんぱく質を約30g摂取できることも魅力的ですが、からだづくりにはそれを分解するビタミンBをはじめ、必要な栄養素をバランスよくとることが重要です。その他栄養素も複合的に含まれているので、摂取だけでなく吸収までしっかりサポートしてくれます。ジムのお客様にも自信をもっておすすめしています。

国立体育大学卒業後、フィットネスベンチャー、フリーランスを経て、業界No.1店舗数を誇る某大手パーソナルトレーニングジムの創成期に参画。モデル業もこなし、2013年には筋肉美を競う「ベストボディジャパン」東京大会で優勝。現在は渋谷の個性派パーソナルトレーナー集団、SHAREZの代表をつとめる。

<https://fitness-sharez.com/>



ヨガ講師／Naturalista代表
八田 さち氏

麺自体に香ばしい風味ともちもち感がありおいしく、食べごたえ抜群でした。これで糖質オフかつ完全食だなんて、パスタ界のイノベーターのようです！また、食後にしっかり満腹感をえられるので間食防止にもなりそうです。日頃からヨガの生徒さんたちには、食事制限でやせ細るよりも、食べて運動する健康的なからだづくりを常につたえています。食事は糖質やカロリーを抑えるだけでなく、必要な栄養素をきちんととることがうつくしさにつながると思います。

ヨガ講師歴9年。フィットネスジムでのヨガ講師として活動開始後、ヨガ発祥地であるインドのリシケシへの留学、サンパウロでクラス開講、内閣府国際交流事業でクラス実施を経て、現在はミスユニバースジャパン神奈川大会公認トレーナーもつとめる。

